



藤島木材工業株式会社に取締役を務める、藤島新さんにお話を伺いました。

Q 藤島木材工業株式会社は主に何をしている会社ですか？

「樫（ナラ）、栗（クリ）、樺（ケヤキ）、山桜（ヤマザクラ）などの樹を製材して広葉樹（ハードウッド）の木材と、その木材を利用した製品を作っています。最近では地元秋田杉でも同様に製品を作っています。また、同じ敷地にある藤島林産株式会社では、丸太を製材した際に出

る端材を利用したフローリング等を作っています」

Q どのような商品・施工を手掛けていますか？

「家具製造用の板材、テーブル天板用の一枚板や横ハギ材、ピアノ工場向けの集成材、フローリングや広葉樹チップなどを製造しています。地元のHOLTEOさんなどに家具の材料となる木材を納品したり、市民ふれあいプラザコムコムのフローリングも担当しました」

Q 現在のおすすめ商品はなんですか？

「テーブル天板やカウンター、棚板、フローリングです。塩ビ（ポリ塩化ビニル）やポリ板（ポリエステル化粧合板）ではない本物の木の質感が特徴です。特にいま人気なのはテーブル天板で、大工さんや工務店を通して注文が入りますが、ご希望があれば直接注文を受けることもできます」

Q お客様にどのように利用してもらいたいですか？

「本物の木は、年数が経つにつれて風合いが増し、価値が高まっていきます。使っているお客様の歴史も刻まれていきます。生活の中に木があることを味わい、年数長く愛用していただきたいです。フローリングや家具、木材等について、個人の方でも企業の方でも、気軽に相談いただければ、可能な限り対応していきたい」と

「弊社工場は、製材から加工・塗装までできるラインがそろっています。さらに、乾燥が難しいブナの木も製品として提供できる楽器材で培った高い木材乾燥技術があります。この特徴を活かして、短納期で加工度の高い注文に対応し競争力を強化しています。また、国産材を使った製品の要望が高まっているので、秋田、岩手、青森の北東北三県の木を使った製品を供給し、地域経済の活性化に役立てたいと思います。新たな取り組みとしては、地元で異業種の仲間とTANOCを結成しました。それぞれの素材と技術を組み合わせ商品に力を入れているので、楽しく魅力のあるものづくりで地元を盛り上げていきます。ぜひ、職人や工場



▲藤島木材工業株式会社 取締役 藤島新さん

藤島木材工業株式会社
住所：北秋田市綴子字田中下モ31
☎：0186-62-0390
HP：http://fujishima-1.com



To tomorrow

きりめく 玉手箱

Vol.6

新しきチャレンジャー編 木を知り、木を愛し 高い技術で地域に貢献

今回は、木材の製材や、木材を使った製品を製作・施工を数多く行っている藤島木材工業株式会社を紹介します。



- 公民館活動
- 生涯学習
- 文化振興
- 学校
- スポーツ

～地域で学び、活動する皆さんを応援します～

北秋田市教育委員会



学びの広場

学ぼう・あそぼう・つたえよう～今できることを～ ～生涯学習フェスタ2020～

「生涯学習フェスタ2020」が、12月13日に市民ふれあいプラザで行われ、サークル活動団体や講座、高鷹大学、花いっぱい運動の紹介のほか、地域おこし協力隊による活動内容を映像で発信しました。

また、展示コーナーでは、川柳講座、大人が楽しむ絵本の時間講座、綴子公民館の歴史文化講座や障害者生活支援センターささえの活動が紹介されました。ホールには、Sasae Caféがオープンし、浜辺の歌音楽館少年少女合唱団や「あなたも弾けちゃ



▲ギターを披露する講座生
う！簡単アコギ講座」、ムーン三浦先生（ダックスムーン）のライブが披露され、会場を盛り上げました。

秋田県民俗芸能功労者表彰を受賞

～綴子大太鼓上町保存会・綴子下町大太鼓保存会～

令和2年度秋田県民俗芸能功労者表彰の表彰者に綴子大太鼓上町保存会の高橋祐三郎さん（91歳）と綴子下町大太鼓保存会の藤島文一さん（91歳）が選ばれました。功労者表彰は、県内の民俗芸能の保存・伝承に功績のあった人物を表彰するものです。

高橋さんは奴踊りの舞手や太鼓の打ち手として活躍し、指導者として後継者の育成にも尽力されました。藤島さんはすべての獅子役をこなす獅子踊りの舞手として活躍しました。また、獅子踊りに使うわ



▲本年度表彰された皆さん
らじの職人としても芸能の伝承に尽力されました。

平安王朝の雅びを体感「王朝継ぎ紙」

～合川公民館定期講座「ものづくり講座」～

合川公民館定期講座「ものづくり講座」が、11月26日に合川保健センターで行われ、12名が受講しました。この講座は、毎月異なる工芸品やアート作品など、ものづくりを行なう講座です。

今回は、旧合川町出身の長谷川なおみさんを講師に迎え、平安時代に生まれた日本最古の和紙工芸である「王朝継ぎ紙」の技法を用いてポストカードを作りました。受講生は、雲母(きら)や金銀の箔で装飾を施された色とりどりの和紙を昔ながらの手法で



▲華麗で雅びな王朝継ぎ紙を学ぶ受講生
切り取り、しょうふ糊で継ぎ合わせて一枚の作品に仕上げました。